

第75号 令和5(2023)年12月25日

富山県合唱連盟

事務局 北日本新聞社事業局内

〒930-8680

富山市安住町2番14号

TEL (076) 445-3355

FAX (076) 431-1924

発行人 中井隆司

東混と夢の響宴



東京混声合唱団 富山特別演奏会

8月13日(日) オーバード・ホールにて「東京混声合唱団 富山特別演奏会」を開催しました。指揮山下一史さん、ピアノ野田清隆さんのもと、東京混声合唱団30名が林光作曲「原爆小景」ほかを披露し、平和の祈りを届けました。また、演奏会の最後には三善晃作曲「唱歌の四季」を、合唱連盟有志が加わった約90名の特別合唱団で演奏しました。

貴重な経験

富山大学合唱団三年 大木実愛

若いうちに多くのことを経験しておくべきである。耳の痛いほど言われてきたこの教えは正しかったと、今回のステージを通して再確認した。私自身、九歳の頃から合唱をしており……と言っても、地方のイチ小学校の部活動として始めたものであったから、自分達の音楽を突き詰めることに精一杯で、経験というものを、あまりしてこなかった。しかし今回の東京混声合唱団富山特別演奏会では、当時得ることができなかったのを悔やむほどの多様な音楽を拝聴できたと感じている。合同ステージはもちろん、合唱のプロが織りなす、旋律とホールいっぱい立ち込める強い声圧は圧巻だった。間違いなく、今後の合唱人生に大きな軸を与えてくれた、素晴らしい演奏会であった。

憧れの東京混声合唱団と同じステージに立つ

アンサンブル舞歌 麻呂利子

憧れの日本で唯一のプロ合唱団である東京混声合唱団と、富山特別演奏会にて同じステージで歌えた感動は予想以上のものでした。リハーサル、ゲネプロ、本番と3回も味わうことができました。

東混の方が私たちの中に入ってくださると、有志で結成した特別合唱団の歌声が全く別の合唱団になりました。特に、4曲目「夕焼小焼」のフィナーレの部分は、ピンピンと音が響き渡り、体が震えました。東混のアルト三宮美穂さんの隣で歌わせて頂き、その息遣いを感じその歌声に魅了されながら、山下一史先生の指揮に導かれて客席に歌声を届けたような気がしました。

本当に至福の時間を味わうことができ、参加してよかったですとしみじみ思いました。

第76回全日本合唱コンクール

第76回全日本合唱コンクール富山県大会

日時 7月30日(日)

〈中学校部門〉

1 砺波市立出町中学校合唱部 金賞(県代表)

2 富山市立堀川中学校合唱部 銀賞

3 富山大学教育学部附属中学校コーラス部 金賞

〈高等学校部門 Aグループ〉

1 富山県立富山いずみ高等学校合唱部 金賞

2 富山県立砺波高等学校合唱部 金賞(県代表)

3 富山県立富山高等学校コーラス部 銀賞

〈大学職場一般部門 大学ユースの部〉

1 富山大学合唱団 銀賞

2 富山大学医薬コーラス部 金賞(県代表)

〈大学職場一般部門 室内合唱の部〉

1 アンサンブルサンベリーナとのみ

金賞(県代表) (全日本合唱連盟理事長賞)

〈大学職場一般部門 同声合唱の部〉

1 A Small Cedar Choir 金賞(県代表)

第76回中部合唱コンクール

日時 9月23(土・祝)〜24日(日) 会場 三重県

〈高等学校部門 Aグループ〉

● 富山県立砺波高等学校 銀賞

● 大学職場一般部門 大学ユース部

● 富山大学医薬コーラス部 銅賞

〈中学校部門 同声合唱の部〉

● 砺波市立出町中学校合唱部 金賞

(中部支部代表)

(津市教育委員会教育長賞 全日本合唱連盟

理事長賞)

〈大学職場一般部門 室内合唱の部〉

● アンサンブルサンベリーナとのみ 銀賞

〈大学職場一般部門 同声合唱の部〉

● A Small Cedar Choir 銀賞

第76回全日本合唱コンクール全国大会

日時 10月29(土)〜30日(日) 会場 香川県

〈中学校部門 同声合唱の部〉

● 砺波市立出町中学校合唱部 金賞

(高松市教育委員会教育長賞)

(カワイ出版奨励賞)

快挙！出町中学校合唱部 全国大会 金賞！！

全日本合唱コンクール全国大会に出場して

砺波市立出町中学校合唱部部長
3年 吉野 花奏

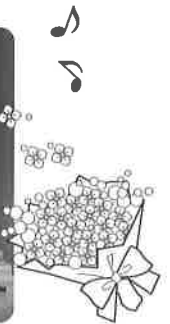
出町中学校合唱部は今年で創部11年目を迎えます。部員16名の中には、合唱経験者だけでなく、中学校の部活動から始めた部員も半数以上います。上級生が下級生に教えるだけでなく、互いに考えを伝え合いながら、学年関係なく話し合いを大切に練習してきました。

今年度は、創部当時の先輩から受け継いできた全国の舞台で歌うこと、そして全員が楽しんで歌うことを目標に日々練習してきました。部活動の時間が平日(火～金)の1時間ずつと限られていましたが、その日の目標を決め、パートリーダーが中心となり練習内容を工夫して合唱を創り上げてきました。

全国大会はどの学校の演奏もすばらしく、全国の舞台のレベルの高さを感じました。とても緊張しましたが、同じ舞台上で演奏できた喜びは格別でした。そして今

を發揮し、最高の演奏ができたことに胸がいっぱいで涙がこみ上げました。このメンバーで歌える最後のコンクールを楽しむことができたし、達成感でいっぱいでした。

夢の全国の舞台で歌うことができたのは、たくさんの方々のお支えがあったからだ改めて感じます。香川県まで応援に来てくださった富山県合唱連盟理事長の中井さんをはじめ、たくさんのお支えや励ましのお言葉をいただきありがとうございました。



第46回全日本おかあさんコーラス 全国大会

8月26日(土)、27日(日)の2日間にわたって全日本おかあさんコーラス全国大会が兵庫県で開催され、中部支部代表として女声合唱団「コール麗」が出演しました。

感動の全国大会！

”新生コール麗”ここにあり！！

女声合唱団「コール麗」岡田明日香

「女声合唱団コール麗……ヴィーナス賞！」
7月2日、おかあさんコーラス中部支部大会の成績発表で、全国大会の切符を手にしたその瞬間、私達は我を忘れ、手を取り合いながら喜びを分かち合いました。

何しろ、コール麗にとっては13年ぶり、そして団員歴12年の私にとっては初めての全国大会出場、しかも地元兵庫県の姫路市での開催という、夢のようなことが実現しようとしていました。

まだまだ残暑が厳しい8月26日、全国大会会場「アクリエ姫路」へ乗り込んだ私達29人は、会場内の熱気と出演者の歌声やパフォーマンスのレベルの高さにいささか圧倒されつつ、本番を迎えることとなりました。

シックな色遣いと高い天井には星降るようなライトが灯る、宇宙にいるかのような素敵なホールの大舞台で、2000人の満席近い観客と、両親や地元からのあつという間の8分間でした。

「ひまわり賞」をいただくことは叶いませんでしたが、わずか数か月でこの夢の舞台へ連れて来てくださった山本先生をはじめ、ピアノの高野先生、団員の皆様に感謝しつつ、これからは「コール麗」でずっと歌い続けたい！と実感したとても貴重な経験となりました。

今回の大会で益々結束が深まった”新生コール麗”は、さらなるレベルアップを目指して、これからも精進していきます！

「音楽が好きになる教え」を受けて

昨年9月25日に森川先生のご逝去の報に接し、驚きと共に悲しみと、音楽を通して先生と共に歩いていた時のことを思い出し気持ちが強く憔悴しました。

そして「森川先生のために何かしたい」という思いに駆られました。しかし、先生のご功績を考えた時、暫く静観する必要があると思いました。でも追悼公演を開催するための準備は必要と思い、射水市混声合唱団の団長に相談したり、高岡市民文化振興事業団、射水市文化振興財団にご相談したりしていました。またその際、協力していただける旨もお聞きしました。

森川先生が他界された翌月(10月)月上旬に、先生のご自宅に個人的に弔問にお伺いしました。その折、「何方からか追悼公演のお話がありますか?」とご家族様にお聞きすると、「何処からもないです」とのご返答でした。「追悼演奏会を開催してもよろしいですか?」とお伺いすると、奥様から「願ったり、叶ったりです」とお返事を頂き、開催する運びとなりました。

高岡市・射水市のみならず、森川先生の「音楽が好きになる教え」を受けた人は県内外にたくさんおられます。その方々の思いを少しでもご紹介したく、当日は、森川先生が関わられていた合唱団から事前に写真や映像等の資料をいただいたものをDVDにまとめ、当日Welcomeムービーの様に、ロビーにて上映しました。

演奏前には、その映像を見ながら、実際に森川先生と関わりのあった方々からイン

森川紀博先生を偲んで

タビュー形式で思い出話をして頂きました。

2023年8月6日、高周波文化ホール大ホールにおいて、生前の森川先生からのリクエスト(奥様が教えてくださいました)でもあったモーツァルトのレクイエムを、先生への思いと感謝の気持ちを込めて演奏しました。とても和やかな雰囲気の中、厳かに電子オルガンと電子ピアノの伴奏で、合唱団員総勢50名は、先生の追悼への思いを届けることができました。

演奏副部長 射水市混声合唱団
指揮 宮丸 勝

恩師に捧げる感謝の 追悼コンサート

合唱を愛する私たちの恩師である故森川紀博先生を偲ぶ追悼コンサートを、去る9月23日に富山県教育文化会館にて開催いたしました。

第一部では先生に縁のある県内の4団体(富大合唱団、合唱団「あるも」、福野あすなろ合唱団、合唱団TMS)と二人の独唱をお聴きいただきました。そして第二部では、先生が生前愛された「アヴェ・ヴェルム・コルプス」と混声合唱組曲「水のいのち」の二曲を総120名で演奏し先生に捧げました。

森川先生の合唱界における功績は言うまでもありませんが、県内にますます合唱の裾野を広げていくことこそが、先生のご恩に報いることと思っています。森川先生、これからも私たちを天国から見守りください。

合掌

森川紀博追悼コンサート実行委員会





富山高等学校コーラス部
第53回コーラスコンサート
7月22日(土)

富山県教育文化会館

本校の音楽選択者10名とともに歌う曲や、本校OB・OGが参加する迫力満点の合唱曲、毎年恒例の劇を交えた企画ステージなどをプログラムに組み込み、出演者も来場頂いた方々も双方が楽しめる演奏会にすることができたのではないかと思います。

この行事で大半の3年生は引退を迎えます。それはつまり、ほかの誰でもない「この13人」で歌える最後の機会であるということです。共に猛練習を乗り越えて、本番。最後の曲を歌い切った瞬間、感じたのは、大きな達成感とほんの少しの寂しさでした。仲間と全力で取り組み成し遂げたが故のこの気持ちを、忘れな

第60回富山中部高等学校
コーラスコンサート
7月28日(金)

富山県教育文化会館

3年間の集大成として臨んだコーラスコンサートでしたが、想像していたよりもはるかに準備が大変で、過去の先輩方の偉大さを改めて感じました。他の部活動の3年生はすでに引退している中で、受験勉強と練習を両立させるため、毎日奮闘してきました。特にミュージカル「浦島太郎」は、試行錯誤しながら作り上げました。また、歌の途中にダンスを取り入れ、汗水を垂らしながら練習してきました。本番では、観客の皆さまからたくさん拍手をいただくことができ、これまでの大変な思いが報われた心地がしました。支えてくださったすべての皆さま、本当にありがとうございました。

創立35周年記念
女声合唱団ヴォーチェ・フォンターナ
第13回演奏会
10月8日(日)
富山県高岡文化ホール

2年間あたためてきた女声合唱組曲「花の風」と「桜の花びらのように」を全曲。ジャズトリオとの共演で新境地を体感したニダロス・ジャズ・ミサ。席亭トリオの皆さんには素晴らしいゲスト演奏で華を添えていただき、最後は懐かしいポップスのメドレーで会場の皆様と思い切り楽しみました。どのステージにもコロナ禍を乗り越えたヴォーチェの意気込みをのせ、中部大会、国民文化祭、芸術祭、賛助出演させていただいたステージの思い出を振り返りながら～共に歌う喜び～そして～共に作り上げる喜び～を再認識できた記念演奏会となりました。会場いっぱいのお客様にお越しいただき、温かく見守られながら無事、開催する事ができましたこと心より感謝申し上げます。

男声合唱団K&クルー第42回演奏会
10月29日(日)

富山県民会館ホール

今回も当団演奏会オープニング曲チェコ民謡「ウ・ボイ」で幕を開けました。第一ステージは三沢治美編曲「男声合唱のためのヒットメドレー『LOVE』」で昭和歌謡を楽しんでいただき、第二ステージは当団の指揮者を半世紀務めた桑谷泰之の編曲で「世界の歌より」ローレライ、殖生の宿など六曲を披露。台詞、服装に凝った「宇宙戦艦ヤマト」を挟んで、第三ステージを伊藤整作詞・多田武彦作曲の男声合唱組曲「雪明りの路」で締め括りました。

昨年の結成50周年を境に団員が20名程に減りましたが、門田宇先生のご指導のもと、一人ひとりが責任感を持って、しっかりと歌うことを目指した結果、今まで一番いい演奏会だったというお言葉を数多くいただきました。

第42回小矢部市合唱祭

小矢部市民合唱団

11月3日(金・祝)

クロスランドおやべ セレナホール

コロナ禍により、クロスランドでは4年ぶりの開催でした。曲は23年度合唱講習会より2曲、燦爛、昂～ずばる～を発表しました。昂は谷村新司さんが急逝されたため、追悼の意を込めてバス、ソプラノのソロと合唱で歌いました。会場の皆さんもよくご存じのこの名曲では、会場からも大きな喝采を受け、会場と一つになる体験をさせていただきました。

合唱団「あるも」第24回演奏会

11月5日(日)

富山市民プラザ アンサンブルホール

第1ステージは信長貴富作曲の「女性詩人による三つの譚歌」を坂本真一指揮、第2ステージは上田真樹作曲の「鎮魂の賦」を橋本純誠指揮でいずれもピアノは清水香里で演奏しました。曲集・組曲ステージでは、それぞれの曲の持つイメージと曲集全体のメッセージを考えながら表現をしました。

また、第3ステージにおいては、昨年9月に亡くなられた合唱団「あるも」の指揮者として創設から26年間支えていただいた森川先生を偲び、思い出の曲をかつての仲間とともに演奏しました。盛りだくさんの曲目でしたが、森川先生に思いを馳せながら、富山県の音楽界に多大なる貢献をいただいた森川先生へ感謝の思いを届け、共有できたのではないかと思います。

最後に、ご支援いただいたすべての方に感謝し、今後も活動に邁進していきたいと思ひます。

富山アカデミー女声合唱団

50周年記念コンサート

11月18日(土)

富山市民プラザ アンサンブルホール

当団は1972年故池田祐孝氏の主宰により結成され、その美しいメロディーにのせて歌う人・聴く人の“心を豊かに”を目指して活動してきました。

内山太一、辻正行、辻志郎各先生方の指揮のもと、先輩団員が大切にしてきた“コーラスを愛する気持ち”を今も引き継いでいます。

今回記念コンサートを開催するにあたり、団員の高齢化・団員数の減少などの問題がありましたが、誰もが知っているクラシックと日本の楽曲を行き来し、ヴァイオリンも楽しめる曲を選びました。まさに“歌う人も聴く人も心を豊かにできる”選曲だったと思います。

今後も、若い近藤洋平先生の指揮のもと、高齢化をものともせず、とにかく楽しく、少しでも美しいハーモニーを目指して歌い続けたいと思ひます。

編集後記

同じ地球のもとに生まれた子どもたちが手をつなぎ、笑い合える日が早く来ることを願わずにはいられない報道の毎日です。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、音楽文化活動に活気が戻ってきました。また、世界中で日本のアスリートたちが活躍する明るい話題にも湧きました。そして、富山県でも年の瀬の風物詩ともいわれる、第九交響曲「歓喜の夕べ2023」が4年ぶりに開催されました。この日を心待ちにしていた方も多いのではないのでしょうか。オーバード・ホールいっばいに、各々が描く新たな歓喜の歌が響き渡ることを願っています。

さて、来年は辰年。古刹のふすまや天井に描かれている龍のように、目を大きく開き上を目指しながら、私たちも合唱活動を発展させていきたいものです。

皆さまの情報発信の手段として、広報部をいつでもご利用ください。ご意見、情報をお待ちしております。

広報部